

平成 16 年 度

江 能 広 域 事 務 組 合

一般会計・特別会計歳入歳出
決算 審査 意見 書

江田島市監査委員

江 監 第 1 2 号

平成 1 7 年 5 月 1 3 日

江田島市長 曾 根 薫 様

江田島市監査委員 栗 本 勲 二

江田島市監査委員 加 藤 隆 光

平成 1 6 年度江能広域事務組合一般会計・

特別会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法施行令第 5 条第 3 項の規定により、審査に付された平成 1 6 年度江能広域事務組合一般会計・特別会計歳入歳出決算及び証書類その他政令で定められた書類について審査を終了したので、次のとおり意見書を提出します。

目 次

第 1	審査の対象	1
第 2	審査の期間	1
第 3	審査の方法	1
第 4	審査の場所	1
第 5	審査の結果	1
1	決算の概況	2
	(1) はじめに	2
	(2) 決算収支の状況	2
2	一般会計	3
	(1) 一般会計の概要	3
	(2) 一般会計歳入	3
	(3) 一般会計歳出	4
3	特別会計	5
	(1) 江能地域振興事業特別会計	5
	(2) 介護認定審査事業特別会計	6
4	財産に関する調書	7
5	むすび	7

一般会計・特別会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

1 各会計歳入歳出決算

平成16年度江能広域事務組合一般会計

平成16年度江能地域振興事業特別会計

平成16年度介護認定審査事業特別会計

2 附属書類

平成16年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

平成16年度各会計実質収支に関する調書

平成16年度財産に関する調書

第2 審査の期間

平成17年3月1日から平成17年4月6日

第3 審査の場所

本庁監査委員事務局

第4 審査の方法

この決算審査にあたり、市長から審査に付された決算報告書に基づき計数を確認するとともに予算の執行が合法的になされているか、また、その会計処理が適正確実に行われたかどうかを検証するため、関係職員の説明を求めるとともに、会計帳票及び関係証書類との照合等通常実施すべき審査手続を実施した。

第5 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書及び附属書類は、いずれも関係法令に準拠して調製されており、かつ、それらの計数は関係諸帳簿及び証書類と符号して正確であることを認めた。

また、予算の執行については、おおむね適正であると認めた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

1 決算の概況

(1) はじめに

この決算は、江田島町、能美町、沖美町及び大柿町の合併に伴う平成16年10月末日での打ち切り決算である。

その結果、未執行に伴う不用額が多くあるが、債権、債務については、新市の江田島市へ引き継がれており、通常の決算とは異なった決算となっている。

(2) 決算収支の状況

当年度の一般会計、特別会計を合わせた決算総額は、歳入が1,168,450千円、歳出が1,041,881千円で、歳入歳出差引（形式収支）は126,569千円の黒字となっている。

この内訳は、一般会計121,640千円の黒字、江能地域振興事業特別会計1,113千円の黒字、介護認定審査事業特別会計3,816千円の黒字となっている。

第1表 決算収支の状況

(単位：千円)

区 分		一般会計	特別会計	計
歳入総額	A	1,137,066	31,384	1,168,450
歳出総額	B	1,015,426	26,455	1,041,881
差引（形式収支）	C	121,640	4,929	126,569
翌年度繰越財源	D	0	0	0
実質収支（C－D）	E	121,640	4,929	126,569
単年度収支（E－前年度のE）		△60,961	△6,356	△67,317

2 一般会計

(1) 一般会計の概要

当年度の決算額は、歳入が1,137,066千円、歳出が1,015,426千円で歳入歳出差引（形式収支）は121,640千円の黒字となっている。

また、翌年度への繰越財源は0であるため、実質収支も同額の黒字となっている。

当年度のみ収支を把握するための単年度収支は60,961千円の赤字となっている。

第2表 一般会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A-B) C	翌年度繰越 財 源 D	実質収支 (C-D) E	単年度収支 (E-前年度のE)
1,137,066	1,015,426	121,640	0	121,640	△60,961

(2) 一般会計歳入

ア 歳入の概要

一般会計歳入の概要は

予算現額	1,899,653千円
調定額	1,137,066千円
収入済額	1,137,066千円
不納欠損額	0千円
収入未済額	0千円

収入済額を予算現額と比較すると762,587千円の減少、調定額と比較すると同額となっており調定額に対する収入済額の割合（収入率）は100.0%である。

歳入決算額の主なものは、

分担金及び負担金	868,526千円	(構成比76.4%)
使用料及び手数料	78,883千円	(構成比6.9%)
繰越金	182,601千円	(構成比16.1%)

第3表 歳入の状況

(単位:千円・%)

区分	予算現額 A	調定額 B	収入済額 C	不納 欠損額	収入 未済額	C/A	C/B	Cの 構成比
1 分担金及び負担金	1,655,083	868,526	868,526			52.5	100.0	76.4
2 使用料及び手数料	112,028	78,883	78,883			70.4	100.0	6.9
3 国庫支出金	2	0	0					
4 県支出金	11,256	2,663	2,663			23.7	100.0	0.2
5 財産収入	3	0	0					
6 寄附金	2	0	0					
7 繰越金	118,649	182,601	182,601			153.9	100.0	16.1
8 諸収入	2,628	4,393	4,393			167.2	100.0	0.4
9 組合債	2	0	0					
合計	1,899,653	1,137,066	1,137,066			59.9	100.0	100.0

(3) 一般会計歳出

ア 歳出の概要

一般会計歳出の概要は

予算現額	1,899,653千円
支出済額	1,015,426千円
不用額	884,227千円

予算現額に対する支出済額の割合(執行率)は53.5%である。

歳出決算額の主なものは、

総務費	57,776千円	(構成比 5.7%)
衛生費	245,532千円	(構成比 24.2%)
消防費	564,304千円	(構成比 55.6%)
公債費	143,634千円	(構成比 14.1%)

第4表 歳出の状況

(単位:千円・%)

区 分	予算現額 A	支出済額 B	不用額	B/A	B の 構成比
1 議会費	7,133	4,180	2,953	58.6	0.4
2 総務費	104,841	57,776	47,065	55.1	5.7
3 衛生費	435,698	245,532	190,166	56.4	24.2
4 消防費	1,036,486	564,304	472,182	54.4	55.6
5 公債費	311,495	143,634	167,861	46.1	14.1
6 予備費	4,000	0	4,000		
合 計	1,899,653	1,015,426	884,227	53.5	100.0

3 特別会計

(1) 江能地域振興事業特別会計

当年度の決算額は、予算現額2,352千円に対して、歳入総額が2,283千円、歳出総額が1,170千円で、形式収支は1,113千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、繰越金が2,158千円(構成比94.5%)、財産収入が125千円(構成比5.5%)である。

歳出の主なものは、江能地域振興事業費が1,170千円である。

第5表 江能地域振興事業特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A—B) C	翌年度繰越 財 源 D	実質収支 (C—D) E	単年度収支 (E—前年度のE)
2,283	1,170	1,113	0	1,113	△1,045

(2) 介護認定審査事業特別会計

当年度の決算額は、予算現額47,884千円に対して、歳入総額が29,101千円、歳出総額が25,285千円で、形式収支は3,816千円の黒字となっている。

歳入の主なものは、分担金及び負担金が19,938千円（構成比68.5%）、繰越金が9,127千円（構成比31.4%）である。

歳出の主なものは、介護保険費が25,285千円である。

第6表 介護認定審査事業特別会計決算収支の状況

(単位：千円)

歳入総額 A	歳出総額 B	形式収支 (A—B) C	翌年度繰越 財 源 D	実質収支 (C—D) E	単年度収支 (E—前年度のE)
29,101	25,285	3,816	0	3,816	△5,311

4 財産に関する調書

(1) 基金

第7表 基金の状況

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減	決算年度末現在高
呉ふるさと市町村圏域 内江能地域振興基金	502,323,090	124,902	502,447,992
合 計	502,323,090	124,902	502,447,992

(2) 公有財産（土地及び建物）

第8表 公有財産の状況

(単位：㎡)

区 分	土 地 面 積	建 物 面 積
行政財産合計	143,833.00	10,878.00
合 計	143,833.00	10,878.00

5 むすび

この決算は、江田島町、能美町、沖美町及び大柿町の合併に伴う平成16年10月末日までの会計期間7か月の変則的な決算である。

そのため、予算の執行率は前年に比べて大変低くなっており、予算執行率については、前年度対比は困難である。

平成16年10月末日での打ち切り決算は、一般会計と特別会計を合わせた歳入総額が1,168,450千円、歳出総額が1,041,881千円で、形式収支及び実質収支ともに126,569千円の黒字となっている。

予算の未執行に伴う不用額が多くなっているが、債権、債務については江田島市に引き継がれている。